49. ポンティオ・ピ ラトとは誰ですか?

ポンティオ・ピラトは、西暦 26年から36年もしくは37年初 めまで、ローマ帝国のユダヤ 属州で総督を務めた人物で す。彼の管轄権はサマリアと イドマヤにも及びました。

2014/02/04

これ以前の彼の生涯について確かな ことは何もわかっていません。彼の 職務は、皇帝クラウディウスの以前 まで使われていたpraefectus (長

官、総督)に該当し、この点はカイ サリアで見つかった碑文で確認され ています。彼の職務をprocurator (執政官、総督) と記述している古 代の作者がいますが、これは時代錯 誤です。福音書は一般的に統治者と いう意味の言葉を使っています。総 督として属州の秩序の維持と司法お よび経済の管理を担当しました。 従って、イエスの事件で司法手続き を行ったことで明らかなように、司 法制度の前面に立たなければなら ず、また属州とローマの運営のため に貢物や税金を徴収しなければなり ませんでした。この最後の職務の執 行に関しては直接的な証拠はありま せんが、後述するフラウィウス・ヨ セフスが記している水道橋を巡る事 件は、確かにその職務執行の結果で す。更に、西暦29年、30年そして31 年にエルサレムで鋳造された硬貨が 発見されましたが、それは間違いな くピラトの命令で造られたもので す。しかし、とりわけナザレのイエ

スを処刑した人物として歴史に名を残しました。そして、皮肉なことに、これによりピラトの名前はキリスト教の信条の中で、「ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられて死に、葬られ…」と唱えられることになったのです。

フィロンやフラウィウス・ヨセフス が伝えるところによると、ピラトの ユダヤ人との関係は決して良好なも のではなかったようです。ヨセフス の見解では、ピラトの時代、パレス チナは非常に混乱していて、フィロ ンの語るところによれば総督は「汚 職体質、暴力、窃盗、強盗、権力の 乱用、しばしば裁判なしの囚人の処 刑、限りない残忍さ」(ガイウス 302)で特徴づけられるようです。 これらの評価には、この二著者の独 自の意図と理解が影響を与えている でしょうが、ピラトの残酷さは、ル カ13.1が示唆するように(総督がガ

リラヤ人の血を彼らのいけにえに混 ぜた出来事が述べられている箇 所)、疑いの余地はないようです。 ヨセフスとフィロンは、ピラトがエ ルサレムに皇帝ティベリウスを称え た徽章をもちこんだことも語ってい ますが、このことがエルサレムで大 きな混乱を招き、徽章はカイサリア まで持ち出されなければならなく なったのでした。また、ヨセフス は、ピラトが水道橋の建設に際して ユダヤ人の神殿から拠出させたと 語っています。その決定は流血の事 態となる反乱を引き起こしました。 ある人たちは、これがルカ13.1に記 されている事件であると考えていま す。ヨセフスが語る最後のエピソー ドは西暦35年ごろに起きたガリジム の丘でのサマリア人への暴力的な弾 圧です。その結果、サマリア人はシ リアの総督のヴィテリオに使節を送 ります。そしてヴィテリオはピラト の任務を解きました。ピラトは事態 の釈明のためにローマに召還されま

したが、ローマに着いたときティベリウス帝はすでに死去していたのです。エウゼビウスが集めた一つの言い伝えによると、ピラトはカリグラ帝の時代に不興を買い自殺したのでした。

後代には、ピラトの人物に関する 様々な伝説が現われました。ティベ ルもしくはヴィエンヌ(フランス)で 恐ろしい最後を迎えたという伝説 や、妻プロクラと共にキリスト教に 改心したという伝説(特に中世に 『ニコデモの福音書』の一部をなす 『ピラト言行録』) もあります。こ のプロクラはイエスを弁護したとし てギリシャ正教教会で聖人として崇 められています(参照:マタイ 27.19)。エチオピアとコプトの教会 ではピラト自身が聖人に加えられて います。しかし、キリスト教がロー マ帝国内で道を開く上で困難に直面 していた時期にローマの総督の罪を 軽減しようとする意図が見られるこ

れらの伝説とは別にして、我々が福音書を通して知るピラトは無気力な人物で、真実と向き合おうとせず、 群衆を喜ばせることを好んでいます。

しかしながら、信仰宣言の中でのピラトの存在は極めて重要です。キリスト教は歴史的な宗教であっても、哲学であるとを思い起こさせてくれるかなってす。贖いはこの世界の具体的な場所、すなわちパレスチナで、歴史トがよりな時期に、すなわちピラしたのです。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/49ponteiopiratotohashui-desuka/ (2025/11/23)